

平成28年度 環境活動レポート

活動期間 平成28年6月～平成29年5月



資材倉庫屋上に設置した太陽光パネル（平成26年3月）



株式会社 増田勇建設

平成29年6月20日発行

1. 環境方針

株式会社 増田勇建設 環境方針

今日の環境問題は、水質汚濁や廃棄物の増大などの問題にとどまらず、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球環境にまで影響し、私たち人類の生活に深く関わる重大なものとなっており、その解決に向けて取り組まなければなりません。

私たちは、建設・土木工事の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全従業員一丸となって環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 建設・土木資材の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）の推進
- ③ 水使用量の削減
- ④ 建設現場での環境配慮工事の推進
- ⑤ グリーン調達の推進
- ⑥ 地域貢献活動

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日：平成19年12月 1日

改定日：平成24年 6月 1日

代表取締役 **増田 勇二**

1. 組織の概要

1. 名称及び代表者名

株式会社 増田勇建設
代表取締役 増田 勇二

2. 所在地

本 社：〒891-0109 鹿児島市清和2丁目 12 番 16 号
資材置場：〒891-0109 鹿児島市清和2丁目 21 番 31 号

3. 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者：村尾 吉光（常務取締役）
連絡先：電話 099-268-5426 FAX 099-268-5540
E-mail：masuda-co@po2.synapse.ne.jp

4. 法人設立：昭和 49 年 1 月

5. 資本金：31 百万円

6. 事業内容

- ①建設業：1. 許可番号：鹿児島県知事 許可(特-25)第 2806 号
有効期限：平成 25 年 12 月 24 日～平成 30 年 12 月 23 日
業 種：土木、建築、とび・土工、石、ほ装、水道施設工事業
2. 許可番号：鹿児島県知事 許可(般-25)第 2806 号
有効期限：平成 25 年 12 月 24 日～平成 30 年 12 月 23 日
業 種：管工事業
- ②産業廃棄物収集・運搬業
1. 許可番号：04600056582 号
有効期限：平成 25 年 10 月 20 日から平成 30 年 10 月 19 日
種 類：廃プラスチック類，ゴムくず，金属くず，ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず，がれき類，紙くず，木くず，繊維くず
以上 8 種類の収集及び運搬

7. 事業の規模

活動規模		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
売上高		百万円	201	118	119	148
産業廃棄物 運搬量	受託運搬量	t	0	0	0	0
	自社運搬量	t	744	655	417	573
産業廃棄物量		t	744	655	417	573
従業員		人	11	11	10	11
本社床面積		m ²	100	100	100	100
本社敷地面積		m ²	200	200	200	200
資材置場敷地面積		m ²	1,427	1,427	1,427	1,427

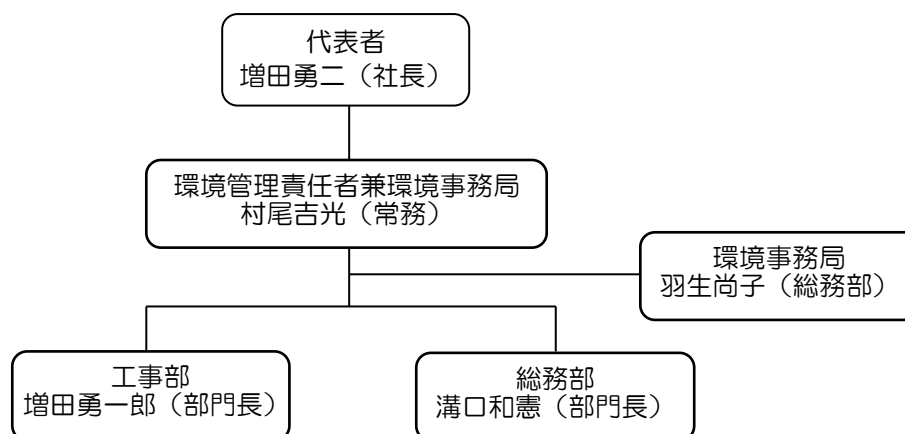
※特記事項：売上高は 6 月 1 日から翌年 5 月 31 日の完成工事高を記載

8. 事業年度：毎年 6 月 1 日起算 翌年 5 月 31 日決算

2. 認証・登録の対象組織・活動

1. 認証・登録事業者：株式会社 増田勇建設 住所：鹿児島県鹿児島市清和2丁目 12 番 16 号
2. 認証・登録対象活動範囲：土木工事業、舗装工事業、建築工事業、水道施設工事業、管工事業、とび・土工工事業
3. 関連事業所：なし
4. 対象外組織：なし

3. 組織図



4. 目標・実績

1. 環境負荷の過去4年分実績

項目		単位	平成25年度 H25.6~H26.5	平成26年度 H26.6~H27.5	平成27年度 H27.6~H28.5	平成28年度 H28.6~H29.5
電力	電力使用量	kWh	5,818	6,904	6,476	6,340
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,961	3,517	3,296	3,227
化石燃料	ガソリン使用量	L	3,330	2,288	2,922	3,023
	軽油使用量	L	15,630	14,408	13,924	22,724
	化石燃料計	L	18,960	16,696	16,846	25,747
	二酸化炭素排出量計	kg-CO ₂	48,750	43,123	43,325	66,654
二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	52,311	46,640	47,288	69,881
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	475	340	317	297
	産業廃棄物排出量	t	744	655	417	573
水使用量		m ³	220	220	195	186

※電力の二酸化炭素実排出係数：九電 H27 0.509 kg-CO₂/kWh で遡って修正

2. 平成28年度環境目標及び実績

評価：○ 達成 × 未達

項目	単位	平成25~27年度 実績(3年平均値)	平成28年度 (H28.6~H29.3)			
		基準年度	目標値	実績	評価	
電力	電力使用量	kWh	6,399	6,335	6,340	×
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,257	3,225 △1%	3,227 △0.9%	
化石燃料	車燃料	L	17,501	17,326	25,747	×
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	45,067	44,616 △1%	66,654 +48%	
二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	48,324	47,841 △1%	69,881 +45%	×
太陽光発電量(売電用)		kWh	33,907	33,000	36,011	○
二酸化炭素削減効果		kg-CO ₂	17,259	16,797	18,330	
カーボンオフセット後の 二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	31,065	31,044	51,551 自社排出26%相当	—
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	377	373 △1%	297 △21%	○
	産業廃棄物排出量	t	—	—	573	○
		%	リサイクル率100%	リサイクル率100%	リサイクル率100%	
水使用量		m ³	205	203 △1%	186 △9%	○
事業の環境配慮：環境取 組チェックリスト達成率		%	—	チェックリス ト達成率調査	達成率78%	○
グリーン調達 事務用品のグリーン商品購入率		%	—	調達率調査	46.7% 42/90品	○
地域清掃		回	12	12	13 達成率100%	○

※電力使用量の二酸化炭素係数：九電 H27 0.509 kg-CO₂ で遡って修正

5. 平成 28 年度環境活動計画

1. 二酸化炭素排出量の削減	<p>1) 電力使用量の削減（節電の徹底）</p> <p>① 冷暖房の温度設定、冷房 28℃、暖房 20℃の温度設定を徹底する。</p> <p>② 不要時・休憩時間は照明の消灯を実施する。</p> <p>③ OA 機器のこまめの OFF を実施する。</p> <p>④ エアコンフィルターの掃除を実施する。</p> <p>2) 燃料使用量の削減（「エコドライブ 10 のすすめ」の実践）</p> <p>① アイドリングストップを実施する。</p> <p>② 車間距離を守り、急発進、急加速、急停車をしない。</p> <p>③ 冷暖房の控えめの使用を実施する。</p> <p>④ 過積載をしない。</p> <p>⑤ 車両使用の効率化（運行ルートの効率化）を実施する。</p> <p>3) 太陽光発電売電による CO₂ 削減効果をカーボンオフセットとみなし、社内の電力、車燃料の CO₂ 排出量の削減を図る。40kW（一般家庭の約 13 倍）</p>
2. 廃棄物排出量の削減	<p>1) 一般廃棄物の削減</p> <p>① 裏紙の使用を実施して、紙資源の節約に努める。</p> <p>② 両面印刷の徹底と縮小印刷機能の活用に努める。</p> <p>③ コピー機使用後リセットの徹底に努める。</p> <p>④ 分別を徹底し一般ゴミの削減を推進する。</p> <p>2) 建設現場副産物の 3R の推進（リサイクル 100% の推進）</p> <p>① 分類別に保管場所を設定し、リサイクルの徹底に努める。</p> <p>② 再生、再利用可能な業者の情報収集に努める。</p> <p>③ 産業廃棄物の適正処理を徹底する。</p>
3. 水使用量の削減	<p>節水の徹底</p> <p>① 生活用水の節水意識の向上（無駄な使用の排除など）に努める。</p> <p>② 車両・建設機械の洗車・洗浄時の節水の徹底に努める。</p> <p>③ 水使用量の把握と漏水の確認を徹底する。</p>
4. 環境配慮工事の推進	<p>① 工事現場ごとに環境への取り組みチェックリストにて達成率をチェック。</p>
5. グリーン調達	<p>① 事務用品、消耗品費は E 商品を優先して購入する。購入率 60% を目指す。</p>
6. 地域貢献活動	<p>① 周辺の道路清掃活動を実施する。</p> <p>② 清掃時はあいさつ運動も展開する。</p> <p>③ 地域ボランティア活動等へ積極的に参加する。</p> <p>④ 環境セミナー等に積極的に参加する。</p>

6. 平成 28 年度取り組み結果の評価と平成 29 年度の取り組み

1) 二酸化炭素排出量の削減

今年度は 4～5 月も工事が続いていた為、また工事現場が遠方であった為軽油の消費量が多く目標達成できませんでした。エコドライブは努力していました。平成 29 年度は電気や燃料削減の目標達成を目指します。

2) 電力使用量の削減

基準年の 0.9% の削減にとどまり、目標未達成。不要時・休憩時間等の照明の消灯、OA 機器のこまめの OFF、冷暖房の温度管理の励行等徹底しましたが目標達成できませんでした。平成 29 年 4 月に常時使用するパソコンが 1 台増えました。平成 28 年 12 月に事務所の電気を LED に交換したので推移を確認していきます。平成 29 年度も引き続き節電を図ります。

3) 燃料の燃費計測

今年度はガソリン車 2 台の燃料を計測しました。（4 月から 3 台）平成 29 年度から目標を設定します。軽油に関しては台数が多く管理が難しい為徐々に計測する台数を増やしていく予定です。

アイドリングストップ及び急発進急加速急停車の抑制、過積載の抑制もほぼ守られ、エコドライブを徹底しました。

二酸化炭素の削減では、太陽光発電（パネル 172 枚、40kW 平成 26 年 3 月資材倉庫屋上設置）による効果をカーボンオフセットと想定して、26%を削減することになりました。平成 29 年度も供給を継続、推進します。

4) 廃棄物排出量削減

一般廃棄物は基準年の 21%を削減、産業廃棄物はリサイクル 100%を達成しました。分別等を徹底し、リサイクル化や再利用有価処分等へ取り組みました。平成 29 年度も分別やリサイクルの徹底を図る取り組みを推進します。

5) 水使用量削減

基準年の 9%を削減しました。水道、地下水の使用量の把握が出来るようになり、また漏水確認チェックや節水意識は高く、引続き平成 29 年度も節水の徹底を図り、目標達成を目指します。

6) 建設現場での環境配慮工事の推進

平成 28 年度は工事ごとに環境への取組チェックリストを作成し、

- ・エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約
- ・建設機械及び設備機器の適正管理
- ・温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止等 34 項目をチェックしました。

平成 29 年度も現場での環境配慮への意識を高く持ち目標達成を目指します。

7) グリーン調達への推進

平成 28 年度は事務用品を経済合理性の範囲内でグリーン商品を優先して購入し、購入率 60%を目指しましたが、実績は 46.7%でした。経済合理性から目標達成が難しかった為、平成 29 年度は目標達成率を見直し、できるだけグリーン商品を優先して購入します。

8) 地域清掃活動

会社周辺の道路、公園の清掃や空き缶ひろいを実施しています。安心・安全で美しく住みよい地域社会に貢献できるボランティア活動に今後も積極的に関わっていきます。

7. 3カ年目標（平成29年度～31年度）

項目		単位	3年実績平均 H26～H28	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			基準値	目標値	目標値	目標値
電力	電力使用量	kWh	6,519	6,454	6,389	6,323
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,989	3,949 △1%	3,909 △2%	3,869 △3%
燃料	ガソリン燃費向上	km/ℓ	13.54 (H28)	13.68 △1%	13.81 △2%	13.95 △3%
太陽光発電売電事業		kWh	*2 33,907	33,000	33,000	33,000
CO ₂ 削減		kg-CO ₂	17,259	16,797	16,797	16,707
廃棄物	一般廃棄物排出量	kg	318	315 △1%	312 △2%	308 △3%
	産業廃棄物排出量	%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
水使用量		m ³	198	196 △1%	194 △2%	192 △3%
環境配慮工事の推進		%	71 (H28)	72 +1%	73 +2%	74 +3%
グリーン調達 事務用品グリーン購入		%	—	45	50	55
地域清掃		回	12	12	12	12

※1：電力の二酸化炭素実排出係数：九電 H27 0.509 kg-CO₂ で算出しています

7. 環境関連法規の順守状況

1. 法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

適用される法規制	適用される主な内容	適用される施設等
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の分別 保管管理、処理委託契約 マニフェスト管理	一般廃棄物 建設副産物（産業廃棄物）
建設リサイクル法	対象建築物の届出、再資源化の実施 実績報告、記録の作成	新設工事 解体改修工事
フロン排出抑制法 (H27.4 施行)	業務用エアコンの簡易点検推進（2基） 廃棄時フロン回収：許可業者委託引取証明 書発行と保管	事務所空調設備 2F 2.74kW // 1F 4.5kW 外部業者点検不要
自動車リサイクル法	購入時のリサイクル料支払い 廃棄時の販売・専門業者委託処理とリサイ クル料の支払い	社用車
家電リサイクル法	廃棄時の適正業者委託処理と委託時のリサ イクル料の支払い	事務所冷蔵庫、テレビ、家庭 用エアコン

2. 環境関連法規のチェック

平成29年5月に法令遵守状況を確認した結果、遵守されています。

3. 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反は無く、過去3年間にわたり、行政からの指摘、指導等はありません。また、周辺住民からの苦情も無く、訴訟についてもありません。（平成29年5月末現在）

8. 代表者による見直しの結果

平成28年度の環境活動総括として平成29年6月10日に社長の見直し評価会議を開催しました。今年度は数字上ではすべての目標を達成することができませんでしたが、社員1人1人が意識を高くもち取り組めたと思います。

また、事務所の蛍光灯をLEDへ交換したり、ガソリン車の燃費計測、工事現場ごとの環境への取り組みのチェック等新しい取り組みを行いましたので、来年度以降その効果が出てくるのではないかと考えられます。

地域の環境活動への支援や貢献は、例年通り実施し今年度も地域の方々から評価を頂いています。今後もさらに地域貢献を進めていきます。

私たちが環境のために出来ることはまだまだたくさんあります。環境への意識を持ち、小さなことから継続して努力していくことが必要です。今後も社員一人一人がエコアクション21の活動を通じて、より一層環境問題を理解し、関心を高め、取り組みを実践していきます。

9. 環境活動の事例紹介



資材倉庫兼武道館屋上に設置した太陽光パネル（平成 26 年 3 月設置）



平成 28 年 4 月
津波発生時における
緊急避難施設に認定



地域町内会の夏祭り
 当社の資材置場を提供、トラッククレーン車の荷台を併用した特設ステージを設営し、夏祭りを支援



エコドライブを実施



地域小学校校区の星空コンサート
 当社のトラッククレーン車の荷台を併用して特設ステージを設営し、星空コンサートを支援